

平成21年度近畿大学大学院農学研究科バイオサイエンス専攻修士論文発表会
(平成22年2月3日 於：311教室)

- 10:00-10:05 開会の挨拶 深溝 慶 専攻幹事
- 10:05-10:20 田内 葵 (植物分子生理学)
アスコルビン酸ペルオキシダーゼによる葉緑体レドックス状態と環境ストレス
応答の制御機構
- 10:20-10:35 出村谷 昌代 (植物分子生理学)
細胞質フルクトース-1,6-ビスホスファターゼ導入によるショ糖合成能の強化
および形態形成への影響
- 10:35-10:50 吉村 佐保子 (植物分子生理学)
葉緑体ゲノムへのトコフェロール生合成酵素遺伝子導入によるビタミンE
高含有植物の作出
- 10:50-11:05 中野 真夕 (動物発生工学)
ブタ卵胞卵の体外成熟能、単為発生卵ならびに体細胞核移植卵の体外発生能
に及ぼすメラトニンとプロゲステロンの影響
- 11:05-11:20 泰中 仁志 (植物分子生理学)
環境ストレス応答のキーレギュレーターである熱ショック転写因子 HsfA2 の
発現制御機構の解明
- 11:20-11:35 畑井 幸二 (バイオマテリアル)
セルロースファイバーのモルホロジー
- 11:35-13:00 休憩
- 13:00-13:15 栗田 正崇 (バイオマテリアル)
有用酸化型光学活性ゼレンボン中間体の合成と誘導化検討
- 13:15-13:30 橋本 孝 (バイオマテリアル)
木材・プラスチック複合材 (混練型 WPC) の開発研究
- 13:30-13:45 石井 英治 (分子生物学)
大腸菌二成分制御系 EvgS/EvgA、PhoQ/PhoP 間をつなぐ、膜タンパク質 SafA
の作用機構の解明
- 13:45-14:00 松本 信之 (バイオマテリアル)
アルキンおよびアジド含有糖の合成と複素環をスペーサーにもつ糖鎖合成
検討
- 14:00-14:15 堀 裕紀 (バイオマテリアル)
セルロースウィスカーの調製と特性
- 14:15-14:30 林 宏紀 (分子生物学)
病原細菌ゲノムにおける情報伝達クロスレギュレーションの体系的解析
- 14:30-14:40 閉会の挨拶 岡本 忠 教授